



気象庁火山防災マスコット
「ぼるけん」

8月26日は「火山防災の日」



宮古島地方気象台マスコット
「パントゥはれるん」

令和5年（2023年）、活動火山対策特別措置法の一部が改正され、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、**8月26日**を「**火山防災の日**」に制定しました。

火山防災の日には、防災訓練等その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

8月26日を「火山防災の日」とした理由

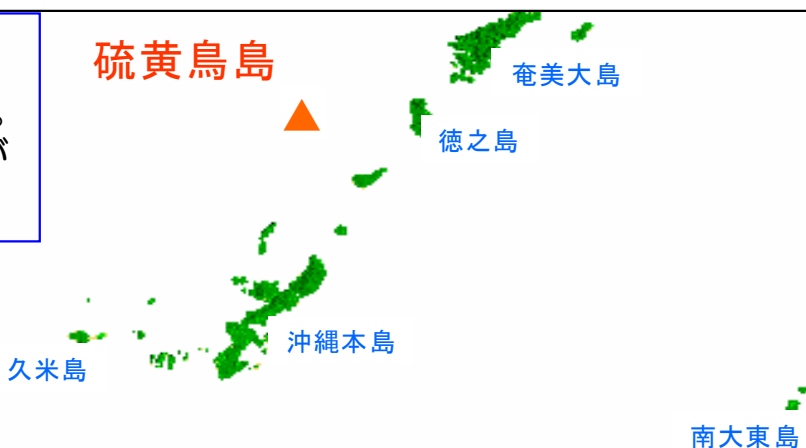
明治44年8月26日に、**浅間山**に日本で最初の火山観測所が設置され、機械を用いた近代的な観測がはじまったことから、この日を「火山防災の日」とすることになりました。

沖縄にも活火山があります

硫黄島島

現在までに9回の噴火の記録がある。1959年の噴火では、全島民86人が島外に移住した。

硫黄島島



西表島北北東海底火山



西表島北北東海底火山

1924年10月31日に突如噴火。多量の軽石が排出され、付近の海面一体を埋め尽くし、その後黒潮の流れで日本各地に漂着した。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL：0980-72-3054（平日のみ／8:30～17:15）

